

伊賀市 事務事業評価シート

ソフト事業

事業名	313.8	通所施設医療的ケア支援事業	会計	01	一般会計
基本施策	5	障がいのある人等の自立した生活を支える	款	03	民生費
担当部課名	健康福祉部高齢障害課		項	01	社会福祉費
作成者氏名	榊 光裕	連絡先	目	04	障害福祉費
		22-9657	細目	102	障害者保護費
			細々目	03	身体障害者保護事業(県単)

事業の計画・内容

事業の目的	対象等(何を、誰を)	成果(どうなるのか)			
	障害児・者施設に通所(通園)する障害児・者のうち、医療的ケアを必要とする通園障害児等	看護や医療行為が必要であったため通所が困難であったのが、サービスが利用可能となり、家族の介護負担軽減を図ることができる			
本年度事業内容	●障害児・者通所(通園)施設医療的ケア支援事業				
	対象者 : 施設に通所(通園)する医療的ケアの必要な通園障害児等 対象施設 : 看護師の配置されていないデイサービス事業所や通所授産施設など 単価 : 施設等に配置の場合、1時間あたり1,175円				
開始年度	平成 17 年度	終了年度	平成 年度	根拠法令・要綱等	伊賀市障害児・者通所(通園)施設医療的ケア支援事業

投入資源

		H17	H18(予算)	H19(予算)
①投入人員	正規職員 (人)	0.1	0.1	0.1
	人件費合計(A)	720	720	720
②支出内訳(千円)	事業費(B)	228	1,504	1,504
	補助金	228	1,504	1,504
	その他			
	合計(A+B)	948	2,224	2,224
③財源内訳(千円)	特定財源			
	国県支出金	114	752	752
	地方債			
	受益者負担			
一般財源	834	1,472	1,472	
上記①～③に関する特記事項				

事業実績

活動指標	単位	実績値			目標値		
		H17	H18	H19	H17	H18	H19
利用延べ日数	日	44	160	160			

評価指標

事業の目的の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	H17	H18(目標)	H19(目標)
利用延べ日数	利用延べ日数を指標とする	日	44 目標 ( 200 )	160	160
			目標 ( )		

事業開始時からの状況変化及び事業の改善点等

・17年度から三重県補助事業として開始。
----------------------

評価	必要性	4	障害者通所系施設については、看護師が必置基準となっていないため、必要な方がサービスを使えない場合があることを考慮すると、今後も継続して支援していく必要がある。	総合評価
	有効性	4		
	達成度	3		
	効率性	3		
				A